



**第1回岐阜県民スポーツ大会
オリエンテーリング交流大会
兼第3回岐阜県OL協会オリエンテーリング大会**

2007年9月9日(日)



9月9日、表記の長いタイトルの大会を岐阜県百年公園で開催した。昨年まで、県はスポレク祭を開催してきたが、県の財政負担軽減の意味と、平成24年の岐阜国体(ぎふ清流国体)に向け、国体種目中心の県民総合体育大会とスポレク祭を合体させ県民スポーツ大会として開催する事とした。県協会としては、この大会を一般向けのOL普及の交流大会として位置付け、スコアによる大会とした。また、折角、大会を開催するのなら、競技者向けの県協会大会も併設する事とし、初めてEカードを利用し、翌週のCC7を意識して、スプリント・ミドルの競技設定をし、さらに、スタート時間をスタート時に申告する方式とした。当日は、台風がそれたものの、夏を感じる暑い1日となり熱中症を随分心配したが、Eカードをはじめ利用する大会としては、イレギュラーな条件も多々あったが、三河OLC及びそのクラブ員である桑山さんに随分お世話になって延べ84人の参加者を得て、色々と欲張りな大会を無事終える事が出来た。ただ、一番の目的である県民のスポーツ参加の機会拡大とOLの普及のための大会としては、初心者参加が少なく、県の広報体制の不備もあるが、いかに初心者の参加を増やすかが、来年の課題となった。

(牧ヶ野敏明さん)

小牧山オリエンテーリング大会

2007年10月21日(日)

今年の「小牧市民まつり」は好天に恵まれた10月20日・21日の2日間にわたって行われた。小牧市民まつりのイベントの一つとして「小牧山オリエンテーリング大会」を開催し、300人を超す参加者があった。

小牧山は標高85.9m、愛知県小牧市の市街地にあり、尾張平野の中に孤立し、頂上からは名古屋市内の高層ビル群や岐阜の金華山(岐阜城)を一望に見渡すことが出来る眺望の地である。

戦国時代に織田信長が城を築き、その後岐阜城に移ったあと、小牧長久手の合戦で徳川家康の主陣地になるなど、三英傑が関わる歴史のある山です。

第1日(10月20日)は初心者向けの大会としてグループでの参加を募集した。小牧市の斡旋で子ども会連絡協議会が参加協力「子ども会対抗戦」として合計76チーム253人が参加、子ども会の役員にはスタートからゴール・計算までの作業を指導し、スタッフの手伝いをしてもらった。

スタート前に参加者に、地図の整置と記号確認に注意するように指導した。子どもたちは元気にスタートし駆け回って帰ってきた。結果は全チームとも完走し、ミスパンチは1チームも無かった。

速報には昔ながらの短冊掲示をした。子どもたちの関心が速報に集まり、順位の並び換えに歓声が上がった。レースは激戦でなかには2チーム・3チームが同タイムもあった。表彰式では子ども会の他、家族・一般クラスとも1位から3位まで小牧市長の表彰状を授与した。午後の参加者20人には体験コース(Nクラス)を走ってもらった。

第2日(10月21日)は経験者を中心に通常のオリエンテーリング大会を開催した。PRにつとめたが、当日は東、西でも大会があり、参加者は東

海地区のオリエンティア36人であった。しかし、参加料無料の体験コースには、42人の参加者があり、初心者説明に忙しかった。

今年4月に小牧市の「市民まつり実行委員会」から今年度のイベントのひとつとして「オリエンテーリングを体験しよう」を小牧山会場で実施してもよいとの話があった。クラブで承認されたので「小牧山オリエンテーリング大会」として実施することにした。その他のイベントには「フリークライミングに挑戦」「ペットボトルロケットを飛ばそう」などもあった。

「小牧山」にはオリエンテーリング用の地図はまだ無かったので、先ず地図作成に取りかからなければならなかった。しかし、当時は小牧市のバラとアジサイ祭りの「四季の森」でフラワーウォークと大会を開催するための地図を作成中であり、小牧山の調査に取りかかったの6月末からであった。今年の夏は特に暑く、蚊が多いので現地調査に苦労した。

ここは範囲が狭く、地形が細かいので縮尺1:3,000で作成したが、なかなかかどらず時間がかかり、大会直前まで調査・作図に追われた。

来年度も市民まつりに参加出来る予定なので、調査の不十分な所をこれから調べて、広い範囲で使用出来る地図にする予定です。



(石田巨宏さん)

- 2月号は以下の内容を予定
- ・10月28日岡崎市民大会(愛知)
 - ・11月3日ウルトラロング大会(愛知)
 - ・11月4日スポレク0大会(愛知)
 - ・11月18日みえスポーツフェスタ(三重)